

課題番号：SFP-202

課題名	廃炉プロセス「使用済燃料プールからの燃料取り出し」 検討対象「放射性物質の閉じ込め」 課題「構造物健全性確保」	時間軸情報	汚染水対策				
			使用済燃料プールからの燃料取り出し	1,2,3			
段階	Design		燃料デブリ取り出し				
ニーズ	望ましい状態とその理由		PCV/RPV/建屋の解体				
			輸送・保管・貯蔵				
			処理・処分・環境回復				
			(参考) 関連する研究課題				
1	SFPの構造物健全性を維持したい。 ●SFPの構造物は、事故当初海水と接しており、また、一部の燃料は爆発や落下したガレキ等によって破損していると考えられる。これらの構造物が長期的に健全か否かを評価することが望まれる。	【実施されている研究課題】	H29年度英知「放射線環境下での腐食データベースの構築」				
		【検討されている研究課題】	課題リスト「レーザー超音波診断法（探傷技術）による金属亀裂、コンクリート健全性遠隔評価手法の開発」				
			課題リスト「鋼構造物腐食・防食、健全性評価」				
			課題リスト「コンクリート構造物の健全性評価」				
2	SFPの経年劣化予測をした い。 ●SFP内の燃料取り出しおよびその後の汚染水除去、構造物解体が完了するまでには数十年かかるとみられている。そのため、その間のSFP構造物の健全性を予測し把握することが望まれる。 ●微生物腐食（MIC）の状態を把握し、SFP構造物の健全性への影響を把握することが望まれる。	【実施されている研究課題】	特になし				
		【検討されている研究課題】	課題リスト「鋼構造物腐食に関する長期寿命予測技術および防食技術の開発」				
3	SFPの耐震安全性を評価し たい。 ●地震が発生した際においても、構造物の健全性が保たれる必要がある。そのため、SFPの耐震安全性を把握することが望まれる。	【実施されている研究課題】	特になし				
		【検討されている研究課題】	特になし				
関連する課題	SFP-101「SFPの現状把握」 SFP-201「放出・漏洩の把握と抑制対策」 SFP-301「がれき等撤去／SF取り出し」						